

# Chinese



国際日本語教育部門主催

東京外国語大学国際日本研究センター

## 言語研究と教育シリーズ第2回研究会

# 「中国語・日本語対照研究と 日本語教育：量の表現」

- 講演者： 張麟声氏（大阪府立大学）  
彭広陸氏（北京大学）
- 司 会： 望月圭子氏（東京外国語大学）
- 日 時： 2011年12月2日（金）17:00～19:30
- 会 場： 東京外国語大学アゴラグローバル  
「プロメテウスホール」 <一般公開 入場無料>

### 1. 張麟声（大阪府立大学） 「中国語と日本語の数量表現の双方向習得研究」

「今朝、二切れのパンを食べた」といった留学生の日本語を聞いて、ちょっとおかしいと感じた経験はありませんか。また、日本人が話す中国語にも、数に関連するかわいい「誤用」が観察されています。こういう数に関する珍談を、中国人の日本語と日本人の中国語という二つの方向から楽しんでいくのが、私の話です。

### 2. 彭広陸（北京大学） 「中国語と日本語の主観量表現の対照研究」

客観的に表現される数量を<客観量>と呼ぶとすれば、主観的（評価的）に表現される数量は<主観量>と呼んでもよからう。往々にして前者は無標の形、後者は有標の形で表現されることになっている。主観量の表現は更に数量が多いことを強調する用法（＝大数量）と数量が少ないことを強調する用法（＝小数量）に分けることができる。日本語の「も」の用法を中心に、それらは中国語と日本語でそれぞれどのように表現されているかを明らかにしたい。

国際日本語教育部門：小林幸江 望月圭子 海野多枝 鈴木美加 谷口龍子

◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ西武多摩川線「多磨」駅下車  
徒歩5分（JR新宿駅から約40分）

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分  
「東京外国語大学前」下車

### お問い合わせ

東京外国語大学 国際日本研究センター  
電話：042-330-5794 info-icjs@tufs.ac.jp

# 中文